

練馬区議会議員 予算特別委員会委員長

つよし かしわざき 強



- 常任委員会** 企画総務委員会 委員
議会運営委員会 委員
- 特別委員会** 交通対策等特別委員会 委員
- 各種委員会** 青少年問題協議会
土地開発公社評議員会

PROFILE

岩手県人会 理事
長野県人会 顧問
大江戸線延伸議員連盟 幹事
東京練馬西口夕リークラブ 会員
練馬区大泉町4丁目町会 会長
株式会社かしわざき創業 (21歳)



平成24年 第三回定例議会

一般質問

大江戸線を大泉学園町へ一日も早い整備着手をめざして！

地下鉄大江戸線について

Q1 平成12年運輸政策審議会答申18号において、目標年次である平成27年までに整備着手すべきことが適当である路線と位置づけられています。しかし答申の目標年次である平成27年が迫っているにも関わらず、肝心の地下鉄延伸については、まったく動きが見えない。目標年次までに開業することが適当である路線、いわゆるA1路線に格上げされないのではないかと不安が頭をよぎる。2年後に迫った最も重要な時期と考えるが、区長の答弁を求めます。

A1 (区長) 区の最重要課題として取り組んでいる、延伸地域の悲願である大江戸線延伸の早期実現にむけて積極的に取り組む。

Q2 4年ぶりとなる促進大会を求めてきた、四半世紀の活動内容をアピールし、大泉学園町までの延伸を早期着手するよう都に迫る絶好の機会、間近に迫っている次期答申までの期間を考えても、最も重要な促進大会にしなければならぬ。区長の答弁をもとめる。

A2 (区長) 区民の要望に応え東京都に働きかける絶好の機会と受け止めている、全力で促進大会開催に取り組む。

〔大江戸線延伸促進大会開催〕

日時 平成25年11月17日(日)
時間 午後2時～3時30分
会場 練馬区立大泉第一小学校 体育館
内容 経過報告・アトラクション(落語)

大泉町、大泉学園町のみちづくりについて

Q1 練馬区風致地区条例検討状況と、制度の考え。さらに今後のまちづくりの予定は。

A1 練馬区風致地区条例の検討状況について、今後、平成26年4月1日の施行を目指している。また、条例の内容については、素案では、都条例で定める規制の基準と基本的に同様の考え方であるが、一方で、地域の特性に応じた土地利用を誘導する必要があるため、一定限度内で、建築物の高さの特例許可が可能となるよう、審査基準を新たに定め、制度の運用を図る。また、大泉町、大泉学園町のまちづくりについては、特例許可を念頭に置き地域との話し合いを継続する。

景気対策について

Q1 補正予算における景気対策は。

A1 (区長) 景気については、政府の様々な経済対策が景気の回復に向けて徐々に効果を表しつつあるものと受け止めているが、区内経済の更なる活性化を講じる必要があるとの認識に立ち、補正予算の編成を進めている。

学校の安全、安心確保について

Q1 消防や警察署との連携を。

A1 (教育長) 地域防犯防火連携組織について、担当部署と連携を図り、関係団体等に協力を呼びかけ、拡充に向けた取り組みをさらに強化する。

Q2 常駐警備員の配置を。

A2 (教育長) 学校敷地内の人的な見守りにつきましては、学校内で行っている安全安心ボランティア事業を学校の見守りも担うよう事業を充実する。常駐警備員の配置についても効果的配置体制を早急に検討する。

Q3 緊急時の情報の共有化を。

A3 (教育長) 今後とも、情報の迅速化と共有を図りながら、児童生徒にとって、安全・安心な環境を整備する。

関越高架下活用計画について

Q1 施設建設懇談会の進捗状況と、施設整備等のスケジュールは。一日も早い整備



代表質問に立つ、かしわざき強

備を。

A1 施設建設懇談会の進捗状況について、今迄の様々なご意見やご要望を踏まえ、各施設の設計プランを作成し、さらに具体的な検討をすることになる。また、スケジュールについては、順次、各施設の整備工事に着手し、平成28年度までに活用区間全体の施設整備を完了できるように取り組む。さらには、地域の特性をいかした施設整備について、今後、施設建設懇談会等での提案や要望を伺いながら、区民から親しまれる施設整備を目指す。

行政サービスのあり方の見直しについて

Q1 行政サービスにグリーンペーパーの活用を。

A1 税と負担のあり方や世代間の公平性の確保など、様々な観点からの抜本的な見直しが行われて来ているので、改めて見直しを図る。

行政財産の有効活用について

Q1 自販機の設置等。歳入確保に全庁的な取り組みと、区民の安全・安心向上を。

A1 入札やプロポーザルを行うことで、区の収入増が期待できることから、今後設置事業者の公募による取り組みを進める。また、省電力機能や災害時での対応等、環境配慮や安全安心の観点を貸付の条件とすることを検討する。

地下鉄大江戸線 延伸早期実現を

どんなご相談でも…
かしわざき強事務所

〒178-0062 東京都練馬区大泉町4-34-5
TEL: 03-3924-7789 FAX: 03-3924-7729
http://www.t-kashiwazaki.com

かしわざき区議決算特別委員会での発言 〔安全対策に大泉第一小学校内に学童クラブ設置を〕

質 問 今年6月に発生した大泉第一小学校の児童傷害事件では、地域の子ども達の安全対策について、改めて様々な課題を投げかけたものと受け止める。地域の協力で見守り体制を強化したと聞かすが、警察官OBによる常設警備員の活用など、今回確認された課題については、教育委員会として今後検討を進めて頂きたい。

教育長 学校敷地外の人的見守りについて安全安心ボランティア事業を学校外の見守りも担うよう事業を拡充する。警備員の配置については効果的な配置体制について検討して参ります。

質 問 事件の周知は区からの情報が遅かったとの指摘がある。情報をいかに迅速に伝えるかが重要であると考えらるが、情報メールの共有化の取り組みについて区の考えを伺う。

教育長 教育委員会では区立小中学校・幼稚園・学童クラブ・保育園に「緊急一斉メール連絡網」システムを導入。

質 問 地域から学童クラブに通う子ども達の事を心配する声があがっている。大泉第一小学校の子ども達は北大泉地区区民館にある学童クラブまで通っているが、600メートルを超える距離、また厳しい上り坂で子どもが歩くと20分はかかる。帰宅時間が遅くなる低学年の帰宅途上の安全確保に校内に学童クラブの設置を要望する。

課 長 新たな学童クラブ室の設置は厳しい状況にあるが、広場事業との連携を推進するため、なるべく学校内に整備をしていく。新たな放課後児童対策の検討を進める。

質 問 保護者の就労の有無に関係なく全ての子ども達が、安全で安心して過ごせる居場所作りを、積極的に進めることを要望する。



保育所待機児童の解消に向けて取り組む。

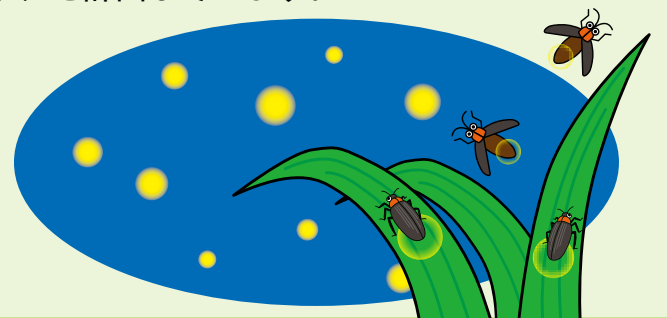
練馬区では、近年の保育所待機児童の増加への対応を重要課題の一つと位置づけ、長期計画における整備定員目標数を2,700人に引き上げるなど、定員拡大に取り組んでいます。

しかし、こうした取組にもかかわらず、本年4月1日現在の待機児童数は、昨年度を55人上回る578人となり、依然として保育所への高い入所需要があります。そこで区では、平成26年4月に742人の定員を拡大するなど、待機児童ゼロの早期達成に向け、定員拡大への取組を進めていくこととしました。



（仮称）中里郷土の森緑地 ホタルの里づくりに向けて

かつてホタルが飛び交っていた練馬の環境の復元と自然観察や交流機会創出のため、ホタルの里事業を進めています。その一つとして（仮称）中里郷土の森緑地（練馬区大泉町一丁目51番地内）でホタル育成エリアを計画しています。



東京外郭環状道路について一般質問

大泉インター地域は一日8万台とも言われる通過交通による慢性的な渋滞による排出ガスなどの影響を受けている。一日も早い外環の延伸が不可欠である。いよいよ大泉地区でも本工事のための準備工事を行うことを、歓迎する。工事にあたっては児童生徒の通学路の安全や環境に配慮し安全対策に充分努められたい。外環整備を契機としてこの地域が一層発展するためにも、国や都と連携をしたまちづくりに更なる努力をされたい。

区 長 本格的な本体工事の着手に向けて、着実に事業が進捗する中、本線シールドトンネル工事について、入札予定時期を来年度発注見通しも出された。適切な対応に責任をもって、早期整備を図るよう国や東京都に働きかけてまいります。



◀ 工事の安全を願う会に出席



◀ 大江戸線延伸、外環道促進を、すがわら一秀経済産業副大臣を訪問し、働きかける。